

めぐってたのしい 佐賀・長崎のやきものの展

Ceramics of Saga and Nagasaki

《展示室で、やきもの散策》

日本磁器のふるさと・江戸時代の肥前をめぐる



今から約 400 年前、佐賀・長崎は一大窯業地としての一步を踏み出しました。16 世紀末期に現在の佐賀県唐津市ではじまった陶器生産が広まり、その中で 17 世紀初頭に日本で最初の国産磁器が誕生。有田町を中心として急速に磁器焼造が進展しました。有田の北側の伊万里市内の大川内や、東の武雄市の板ノ川内、嬉野市の志田、南の長崎県波佐見町、西南の佐世保市の三川内など、一帯に窯業地が広がり、約 30km 圏内のこれらの地域だけでも 300 か所以上に登り窯が消長したとされます。近しい地域ではありますが、有田・大川内・板ノ川内・志田・波佐見・三川内では、それぞれ特色あるやきものが焼かれました。

今回の展覧会では、2つの展示室を「有田」、有田を除く「大川内・板ノ川内・志田・波佐見・三川内」に分けて、それぞれの地理になぞらえて展示します。現在も続く窯業地、そのはじまりである江戸時代の磁器を中心に、約 80 点をご紹介します。展示室内をあちらこちらと「散策」しながらお楽しみください。

展覧会情報

- ◇ 名称：めぐってたのしい 佐賀・長崎のやきものの展
- ◇ 会期：2026 年 10 月 7 日（水）～ 12 月 20 日（日）
- ◇ 開館時間：10:00 ～ 17:00（入館受付は 16:30 まで）
※金曜・土曜は 10:00 ～ 20:00（入館受付は 19:30 まで）
- ◇ 休館日：月曜・火曜
※ 10 月 12 日（月・祝）、11 月 3 日（火・祝）、11 月 23 日（月・祝）は開館。
- ◇ 入館料：一般 1,300 円／25 歳以下 500 円／高校生以下無料
※一般以外是要証明書。
※ 10 月 14 日（水）は創設者 戸栗 亨のメモリアルデーのため、無料開館いたします。
- ◇ 会場：戸栗美術館（東京都渋谷区松濤 1-11-3）
- ◇ 交通：渋谷駅ハチ公口より徒歩 15 分・地下鉄 A2 出口より徒歩 12 分
京王井の頭線 神泉駅北口より徒歩 10 分
当館には駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。

第1展示室 「有田」

佐賀県有田町は磁器焼造の中核で、町内だけで約60か所の江戸時代の窯跡が確認されています。色絵や染付など様々な装飾技法が使用され、最高級品から量産品まで、幅広い磁器（伊万里焼）を焼造しました。

磁器草創期の窯場が点在した西側、広大な磁石場の発見によって中心地となっていく東側。エリアや年代によって異なる特色をご紹介します。

有田で作られたのに「伊万里焼」？

有田などで焼造された磁器は、当初は伊万里津から出荷されたため、消費地で「伊万里焼」と呼ばれました。また、「伊万里焼」の中には志田や波佐見など有田以外の地域の磁器も含まれました。現代では研究の進展により、各地域の磁器が「志田焼」「波佐見焼」などと区別されるようになりました。

第2展示室 「大川内・板ノ川内・志田・波佐見・三川内」

藩窯・民窯、磁器・陶器など、特色ある窯場が展開しました。有田を展示室の中心と仮定し、東西南北に当てはめて各地域の作品を展示いたします。

あり た 有田

画像①

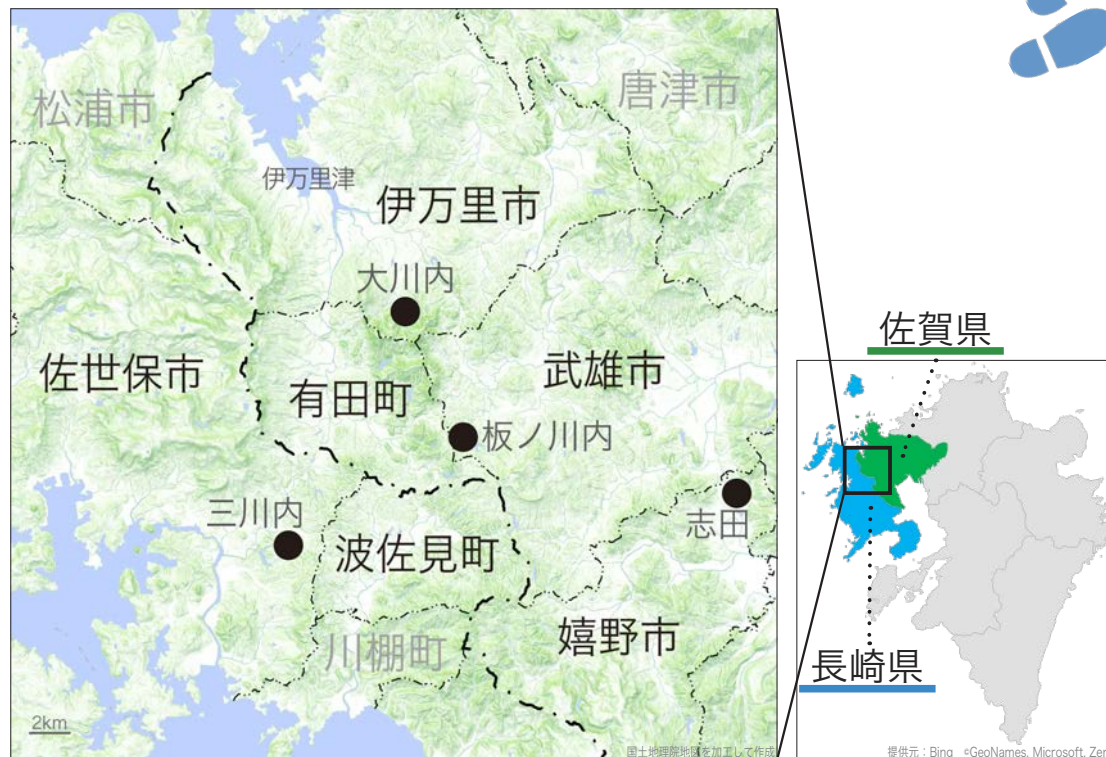


色絵 葡萄文 虫籠形香炉
江戸時代(17世紀後半) 通高 10.9cm

画像②



染付 山水文 台皿
江戸時代(17世紀中期) 口径 28.3cm



画像③



色絵 唐花文 八角猪口
江戸時代(17世紀末～18世紀初) 高 6.8cm

おおかわ ち 大川内

伊万里市内の大川内に設置された佐賀鍋島藩の藩窯では、有田の製磁技術を基に鍋島焼が焼造されました。将軍家への献上、大名などへの贈答にも相応しい格調高い磁器です。

画像④



染付 紗綾形文 壺
江戸時代(17世紀前半) 高 19.1cm

いた の かわ ち 板ノ川内

武雄市は白土や白化粧を用いた陶器で著名ですが、板ノ川内などでは磁器も焼造されました。「染付 紗綾形文 壺」は肩部を削った粘土を縄目状に整えた創意溢れる作品です。

画像⑦



青磁 銹釉染付 獅子置物
江戸時代(19世紀) 高 17.4cm

み かわ ち 三川内

江戸時代は平戸藩領に属し、民窯のほかに、藩の御用窯も設置されました。繊細な染付磁器に加え、「青磁 銹釉染付 獅子置物」のような複雑かつ卓越した造形物も見どころです。

画像⑥



青磁 椿文 三足皿
江戸時代(17世紀前半) 口径 18.7cm

は さ み 波佐見

17世紀初頭から磁器窯が開かれ、複数の窯場が林立しました。17世紀前半には「青磁 椿文 三足皿」など上質な青磁を焼造した一方、江戸時代後期には染付食器を量産しました。

画像⑤



染付 竹虎文 皿
江戸時代(19世紀) 口径 42.6cm

し だ 志田

嬉野市内の志田は、19世紀頃の白化粧土を使用した磁器に特色があります。「染付 竹虎文 皿」など、親しみやすさを感じさせる大皿が多数製作されました。

展覧会紹介文

- ◇ 佐賀・長崎の江戸時代の磁器を中心に約 80 点を展示。(24 字)
- ◇ 約 400 年前、一大窯業地として歩み出した佐賀・長崎。有田や波佐見など、江戸時代の磁器を中心に約 80 点をご紹介します。会場内を佐賀・長崎の地理になぞらえて、「散策」気分をやきものをご堪能いただける構成です。(99 字)
- ◇ 約 400 年前、一大窯業地として歩み出した佐賀・長崎。現在の佐賀県有田町を中心に、伊万里市大川内、武雄市板ノ川内、嬉野市志田、長崎県波佐見町、佐世保市三川内といった約 30km 圏内の 300 か所以上に登り窯が築かれ、それぞれ特色あるやきものが焼造されました。本展では 2 つの展示室を「有田」と「大川内・板ノ川内・志田・波佐見・三川内」に分け、実際の地理になぞらえて展示します。現在も続く窯業地、そのはじまりとなる江戸時代の磁器を中心に約 80 点をご紹介します。会場内を「散策」するようにめぐりながらお楽しみください。(245 字)

会期中の催し物

- ◇ 展示解説
 - ☐ 10 月 17 日 (土)・12 月 5 日 (土) 各日 14:00 ～ (約 45 分)
 - ☐ 参加費無料 (要入館券) ☐ 予約不要
- ◇ 古伊万里入門解説
 - ☐ 11 月 21 日 (土) 14:00 ～ (約 45 分)
 - ☐ 参加費無料 (要入館券) ☐ 予約不要
- ◇ ラウンジ & ギャラリー・トーク
 - ☐ 「日本磁器のふるさと・江戸時代の肥前」(講師：当館学芸員)
 - ☐ 11 月 9 日 (月) 14:00 ～ (約 120 分／要予約・有料)

※当日はご予約の方のみご入館いただけます。

※詳細は当館ホームページをご覧ください。

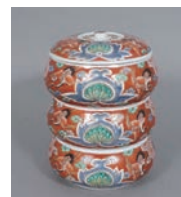
同時開催

- ◇ 『江戸時代の伊万里焼—誕生からの変遷—』(第 3 展示室)
- ◇ 『平戸悦山を継ぐもの 今村均・今村ひとみ 白磁展』(やきもの展示室)

次回展予告

逆引き！吉祥展

—古伊万里の文様どんな意味？— 2027 年 1 月 7 日(木)～3 月 22 日(月・振休)



色絵 吉祥文 段重

伊万里
江戸時代(19 世紀)
通高 21.0cm

お問い合わせ

公益財団法人 戸栗美術館 広報担当 宛

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-11-3

TEL : 03-3465-0070 FAX : 03-3467-9813 E-mail : kouhou@toguri-museum.or.jp

公式サイト : <https://www.toguri-museum.or.jp/>